KENWOOD

KNA-DR500

ナビ連携型ドライブレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

My-Kenwood（ユーザー登録）のご案内

お買い上げいただきました商品を「ご愛用商品登録」していただくと、ご使用いただいている商品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。
https://jp.my-kenwood.com

© 2015 JVC KENWOOD Corporation

B5A-0549-00 (J)

目次

安全上のご注意.....3

使用上のご注意.....7
- 取り付け上のご注意.....7
- 使用上のご注意.....7
- 本機のお手入れ.....7

取り付けかた.....8
- 取付手順.....8

配線のしかた.....10

各部の名称とはたらき.....11

基本操作.....12
- SDカードを入れる/取り出す.....12
- 電源をオン/オフする.....12
- SDカードをフォーマットする.....12
- 録画モード.....14

録画する.....16
- 任意の場所で録画する(手動録画).....16
- 画面の見かたと操作.....17

再生する.....18
- ファイルを再生する.....18
- 画面の見かたと操作.....19

設定する.....20
- 各種設定をする.....20
- システムをアップデートする.....22

録画ファイルを削除する.....23
- ファイルを削除する.....23

故障かな?と思ったら.....24

付録.....27
- SDカードについて.....27
- フォルダ/ファイル構成.....27
- 録画時間.....28
- 録画ファイル数.....28
- 商標.....28

仕様.....29

保証とアフターサービス.....30

- 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。
- 接続するナビゲーションによって、表示されるボタンの形状や位置が異なります。接続するナビゲーションの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 最新の取扱説明書やファームウェアアップデート情報などを当社ホームページで提供しています。下記ウェブサイトでご確認ください。
  http://www2.jvckenwood.com/cs/car/

安全上のご注意（必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。**

⚠危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ **お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。**

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

- 録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

取り付けや配線について

⚠警告

本機はDC12V⊖アース車以外で使用しない
火災や故障の原因になります。DC12V⊖アース車以外で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない
交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない
視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。

取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする
火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなど小物部品やメモリーカードは乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コードの扱いに注意する
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

⚠警告

分解・修理および改造はしない
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止して電源コードを本機から外してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない
必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

使用方法について

⚠警告

雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない
落雷による感電の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口に依頼してください。

⚠注意

本機を車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

走行前に本機の取り付け状態を点検する
本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠警告

異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口に相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな？と思ったら」(➔P.24) を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで 3 秒以上押してください。(➔P.11)
リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源を切り、お買上げの販売店またはお近くの当社サービス窓口へ相談してください。

使用上のご注意

取り付け上のご注意

- フロントガラスの上部からフロントガラス全体の20%の範囲内、または運転者の前方視界を妨げないルームミラーで隠れる位置に取り付けてください。
- ワイパーのふき取り範囲に入るように取り付けてください。
- ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 車検証ラベルなどに重ならないよう注意して取り付けてください。
- 運転やエアバッグ動作の妨げにならないよう注意して取り付けてください。
- 本機を運転支援システム搭載車に取り付けるときは、車両の取扱説明書を確認して運転支援システムの妨げにならない場所を選んで取り付けてください。
- 誤った取り付けをした場合は、衝撃録画や駐車録画が正しく動作しないことがあります。固定ノブの緩み、取り付け方向、取り付け角度など「取り付けかた」を参照して本機を正しく取り付けてください。(➔P.8)
- 本機を地上デジタルアンテナまたはテレビアンテナの近くや、電装品の近くに設置しないでください。テレビの受信感度の低下やちらつきノイズの原因になる可能性があります。
- 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取りマウントベースを固定してください。再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり本機が落下する恐れがあります。
- 本機を取り付け後マウントベースの接着力を強くするため、取付後24時間以上放置してから使用してください。マウントベースの接着力が弱くなりはがれ落ちる可能性があります。
- コード類は、運転操作の妨げにならないようテープ等でまとめてください。

使用上のご注意

- カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- LED式信号機を撮影した場合、信号機がちらついたり点滅しているような映像が録画される場合があります。また信号機の識別や録画に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 自動車のフロントガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 本製品はあらゆる状況においての映像の録画を保証するものではありません。

本機のお手入れ

- 汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。

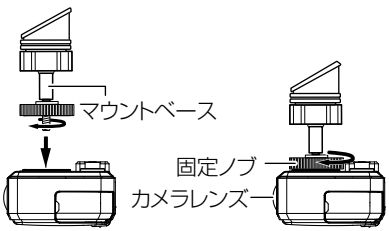
取り付けかた

取付手順

車が水平な場所に駐車していることを確認します。

1. 本機をマウントベースに取り付ける

本機のマウントベース取付部にマウントベースのネジ部を差し込み、右に回して本機に取り付けます。最後に固定ノブを右に回して本機とマウントベースをしっかり固定します。



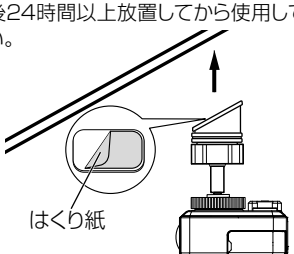
2. 本機の取り付ける位置を決める

推奨取り付け位置を参考にして取り付け位置を決めてください。また、国土交通省の定める保安基準*に適合するように取り付けてください。

*保安基準：道路運送車両の保安基準第29条(窓ガラス)、細目告示第195条

3. 取り付ける面をきれいにしてフロントガラスに貼付ける

市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取ってください。マウントベースの両面テープのはく り紙をはがし、フロントガラスに貼付けます。マウントベースの取付強度を強くするため、取付後24時間以上放置してから使用してください。

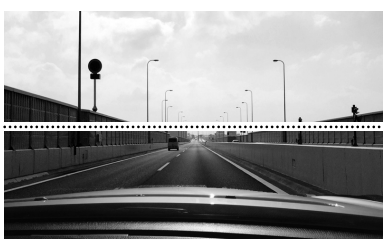


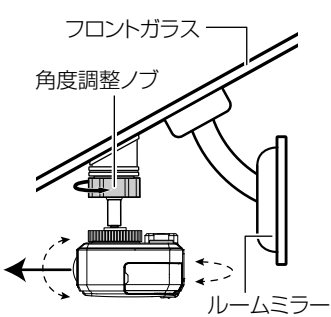
4. コードを配線する

「配線のしかた」を参照して本機をカーナビゲーションに接続します。(➔P.10)

5. 本機の取付角度を調整して固定する

調整前に角度調整ノブを右に回しておきます。取り付け角度を調整するときは、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また空と地上との比率が同じであることを確認してください。取付角度を調整したら、マウントベースの角度調整ノブを左に回して固定します。画面表示のしかたは、接続したナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。

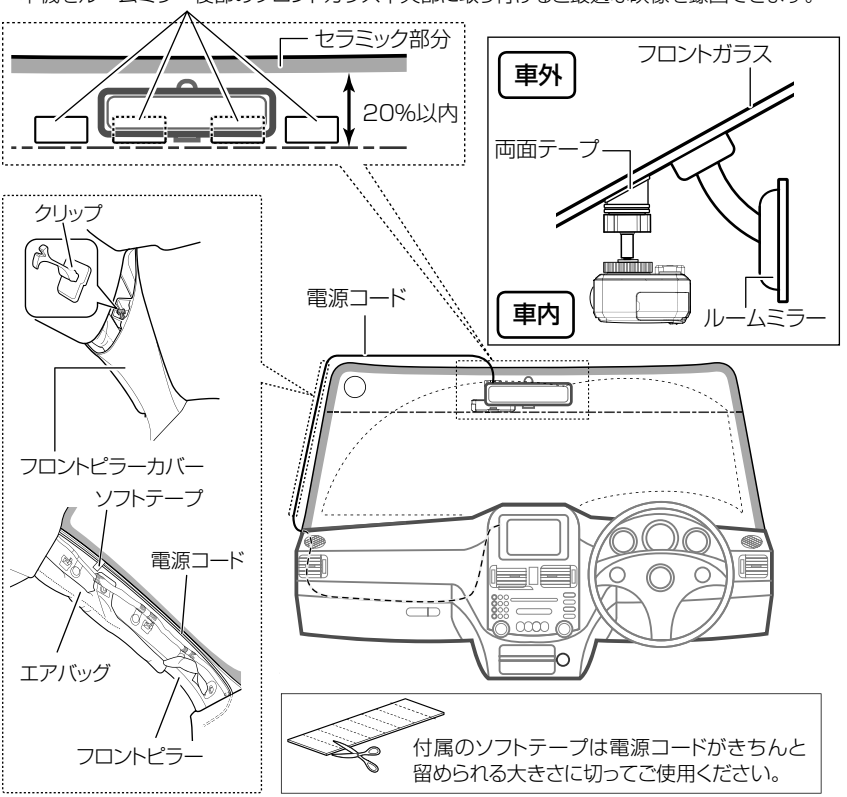




・カーナビゲーションの接続機器の設定が必要です。詳しくはカーナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。

推奨取り付け位置

- フロントガラスの上部からフロントガラス全体の20%の範囲内、または運転者の前方視界を妨げないルームミラーで隠れる位置に取り付けてください。
- ワイパーのふき取り範囲に入るように取り付けてください。
- 本機をルームミラー後部のフロントガラス中央部に取り付けると最適な映像を録画できます。



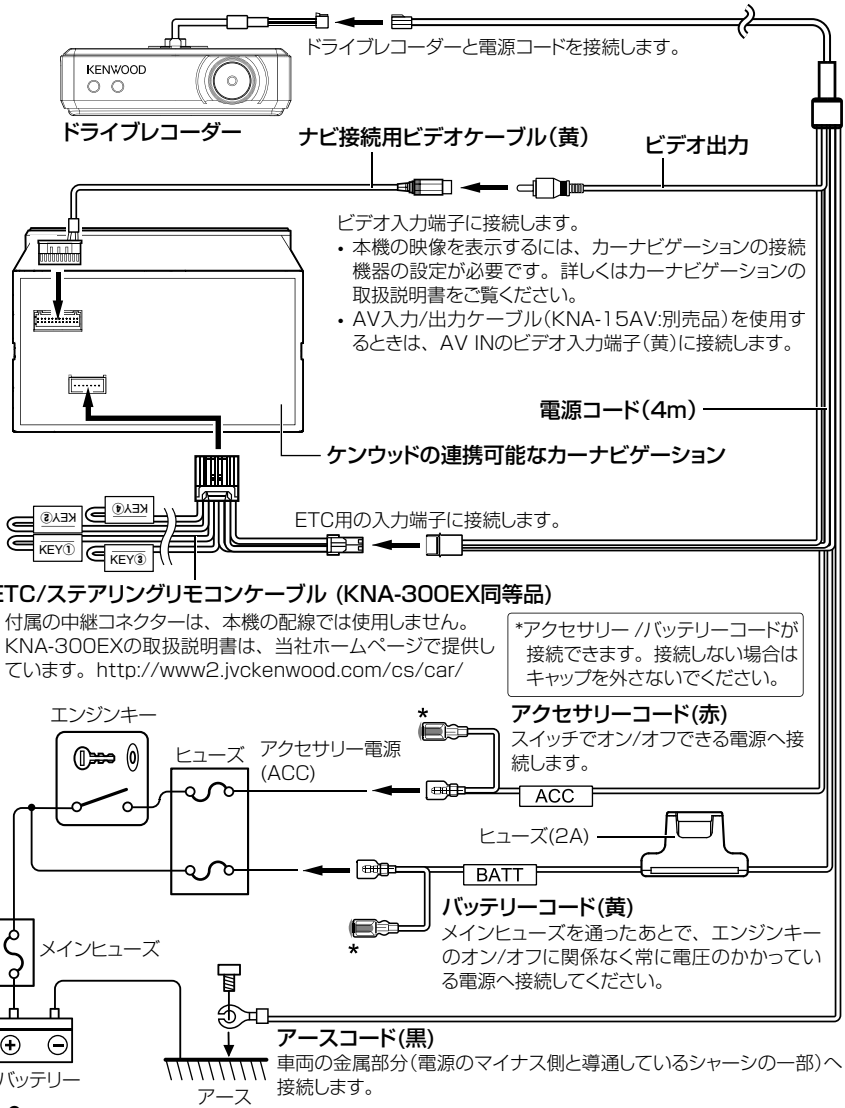
⚠注意

電源コードをフロントピラーなどに通すときは、下記の点に注意して配線してください。

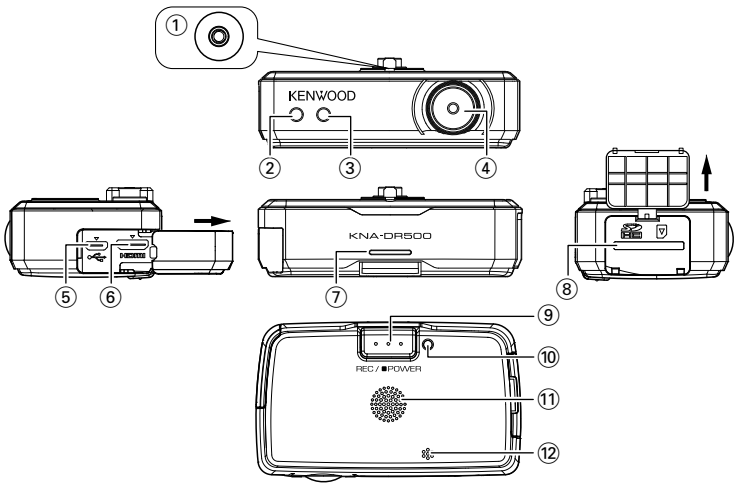
- 電源コードとエアバッグが干渉しないようにするため、電源コードがエアバッグよりも前方または上方になるように配線してください。
- フロントピラーカバーが特殊クリップ等で固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
- 電源コードは、運転操作の妨げにならないよう付属のソフトテープ等でまとめてください。

配線のしかた

⚠注意 接続作業を行うときは、初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。



各部の名称とはたらき



① **マウントベース取付部**
付属の専用マウントベースを取り付けます。

② **駐車 LED**
駐車録画モード待機中に赤色で点滅し、セキュリティインジケーターとして働きます。

③ **ホワイトバランスセンサー**
最適な撮影映像になるように色の補正を自動で行います。

④ **カメラレンズ**

⑤ **マイクロ USB 端子**
この端子は使用しません。接続しないでください。

⑥ **ミニ HDMI 端子**
本機の映像と音声を出力します。HDMI Mini ケーブルで接続します。HDMI 接続するとビデオ出力 (➔P.10) から映像が出力されなくなります。

⑦ **電源 LED**
本機の動作状態を LED 表示でお知らせします。
- 赤色点滅 : 常時録画、駐車録画
- 黄緑色点滅 : 衝撃録画、手動録画または録画ファイル再生中

⑧ **SD カードスロット**
SD カードをラベル面を上にして挿入します。

⑨ **[REC/■POWER] ボタン**
- 常時録画モード中に押すと手動録画を始めます。
- 本機の電源をオン/オフします。(➔P.12)

⑩ **リセットボタン**
本機をリセットします。

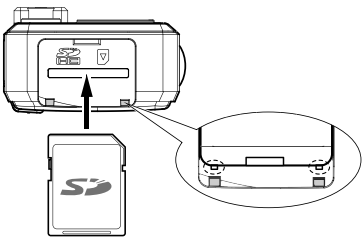
⑪ **スピーカー**
録画ファイル再生の音声と音声ガイドや操作音を出力します。

⑫ **マイク**
映像録画中の音声を録音します。

基本操作

SD カードを入れる / 取り出す

本機の電源をオフにしてから、カバーを上に開けて、SD カードスロットにカチッと音がするまで挿入します。カードの向きに注意してください。



取り出すときは、本機の電源をオフにしてから SD カードを押して、SD カードがポップアップしたら引き抜きます。

- SDカードを出し入れするとき以外は、カバーを閉じておいてください。カバーを閉じるときは、カバーの爪を先に本機の穴に差し込んでください。

電源をオン / オフする

車両のアクセサリー電源 (ACC) スイッチをオン、またはエンジンをかけると本機の電源がオンし、常時録画(連続録画)が始まります。アクセサリー電源 (ACC) がオフになると電源がオフし駐車録画モードになります。

手動で電源をオン / オフするときは ...

アクセサリー電源 (ACC) がオンのときは、本機の電源を手動でオン / オフできます。

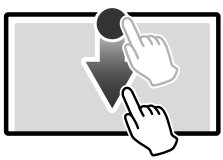
- 本機がオン中に**[REC/■ POWER]**ボタンを2秒以上押し続けると電源がオフになります。
- 本機がオフ中に**[REC/■ POWER]**ボタンを1秒以上押し続けると電源がオンになります。

SD カードをフォーマットする

SD カードを使用するときは、接続したナビゲーションを操作して本機でフォーマット(初期化)します。

1. SD カードを SD カードスロットに入れる

2. ナビゲーションの画面上部から中央に向かってドラッグして画面コントロールメニューを出す

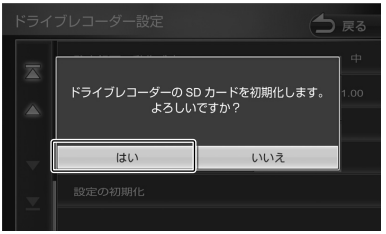


3. **[ドライブレコーダー]** にタッチしてドライブレコーダー画面を表示する

4. 画面にタッチして操作ボタンを表示させ **[設定]** にタッチする

5. ドライブレコーダー設定画面を表示させ **[SD カード初期化]** にタッチする

6. [はい] にタッチする



SDカードを初期化します。

7. [戻る] にタッチして設定を終了する

- カーナビゲーションの接続機器の設定が必要です。詳しくはカーナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。
- SDカードのフォーマットは必ず本機で行ってください。
- SDカードのフォーマットを行うと、保護したファイルを含むすべてのファイルが消去されます。
- SDカードが書き込み禁止されている場合や、非対応のSDカードの場合は初期化が出来ません。(→P.27)

基本操作

録画モード

本機には 4 つの録画モードがあります。本機の電源がオンになると常時録画（連続録画）を開始します。

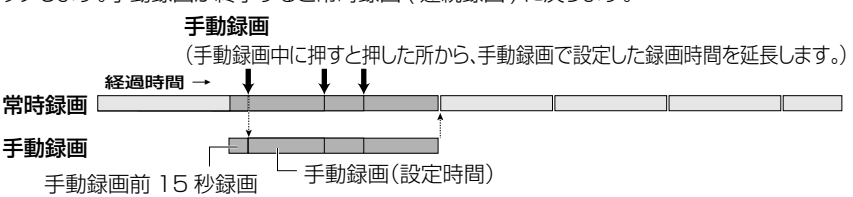
常時録画（連続録画）

本機の電源がオンになると、常時録画 (連続録画）を開始します。常時録画では、SD カードの録画領域がなくなると古いファイルから順に消して録画を続けます。

- 録画データは常時録画フォルダに保存されます。
- 「機能設定項目の録画時間（常時録画）」で1ファイルの録画時間を設定できます(➔P.21)。
- 常時録画は、連続12時間経過すると一度録画を停止してから、再度常時録画を開始します。

手動録画

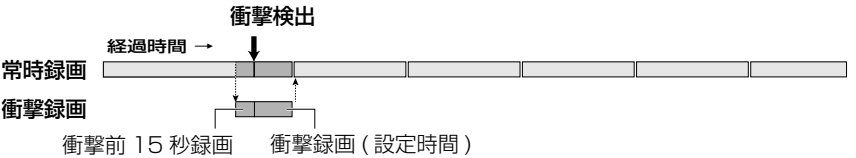
本機の [REC/■POWER] ボタンを押すか、またはナビゲーション画面の **[録画]** ボタンにタッチすると、手動録画を開始します。手動録画の録画時間は手動録画前の 15 秒と、「手動録画の録画時間」で設定した時間を録画します (➔P.21)。録画時間の延長をしたいときは、続けて [REC/■POWER] ボタンを押すか、またはナビゲーション画面の **[録画]** ボタンにタッチします。手動録画が終了すると常時録画 (連続録画) に戻ります。



- 録画データは手動録画フォルダに保存されます。
- 1ファイルの録画時間は最大3分です。録画時間が3分を超えるとファイルを分割して録画します。
- 手動録画は、10ファイルを超えると録画できません（付属のSDHCカード 8GBの場合）。「各種設定の手動録画のファイルの上書き保存」を"ON"に設定すると古いファイルから順に消して録画します(➔P.21)。保管しておきたい録画データは、必要に応じてパソコン等にバックアップしてください。

衝撃録画

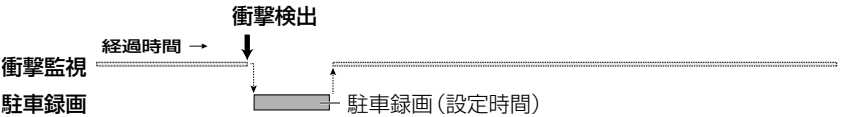
突発的な衝撃や予期しない衝突などを感知して、衝撃録画を開始します。衝撃録画の録画時間は、衝撃検出前の15秒と、「衝撃録画の録画時間」で設定した時間を録画します (➔P.21)。衝撃録画が終了すると常時録画 (連続録画) に戻ります。



- 録画データは衝撃録画フォルダに保存されます。
- 衝撃録画は、5ファイルを超えると録画できません(付属のSDHCカード 8GBの場合)。「各種設定の衝撃録画のファイルの上書き保存」を"ON"に設定すると古いファイルから順に消して録画します(➔P.21)。保管しておきたい録画データは、必要に応じてパソコン等にバックアップしてください。

駐車録画

アクセサリー電源 (ACC) がオフになると駐車録画モードになり、駐車 LED を点滅させて車両の衝撃を監視します。車両に衝撃を受けると本機の電源がオンになり、駐車録画が開始されます。車両の衝撃検出後の録画時間は「駐車録画の録画時間」で設定できます (➔P.21)。駐車録画が終了すると本機の電源がオフになり、車両の衝撃監視に戻ります。



- 録画データは駐車録画フォルダに保存されます。
- 車両に衝撃を受けてから、数秒後に駐車録画が開始されます。
- 駐車録画は、20ファイルを超えると録画できません(付属のSDHCカード 8GBの場合)。「各種設定の駐車録画のファイルの上書き保存」を"ON"に設定すると古いファイルから順に消して録画します(➔P.21)。保管しておきたい録画データは、必要に応じてパソコン等にバックアップしてください。

録画する

任意の場所で録画する（手動録画）

常時録画モード中に、本機の [REC/■POWER] ボタンを押すか、またはナビ画面の **[録画]** ボタンにタッチすると、好きなときに手動で録画できます。

1. [REC/ ■ POWER] ボタンを押す

「手動録画の録画時間」で設定した時間を録画すると、通常録画（連続録画）に戻ります。

ナビゲーション画面から操作するときは ...

1. ナビゲーションの画面上部から中央に向かってドラッグして画面コントロールメニューを出す

2. [ドライブレコーダー] にタッチしてドライブレコーダー画面を表示する

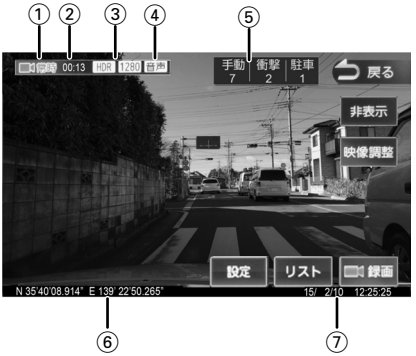
3. 画面にタッチして操作ボタンを表示させ **[録画]** にタッチする

「手動録画の録画時間」で設定した時間を録画すると、通常録画（連続録画）に戻ります。

- 操作ボタンは一定時間がすぎると消えます。画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。
- [非表示]にタッチしても操作ボタンを消すことができます。
- 録画時間を延長したいときは、続けて[REC/■POWER]ボタンを押すか、またはナビゲーション画面の[録画]ボタンにタッチします。
- 手動録画の録画時間は手動録画前の15秒と、「手動録画の録画時間」で設定した時間を録画します。（→P.21）
- フォルダやファイルの選択中、再生中、削除中、設定中は手動録画はできません。
- ナビゲーション画面に戻っても、本機は録画を継続します。録画をやめたいときは、アクセサリー電源（ACC）または本機の電源をオフにしてください。（→P.12）

画面の見かたと操作

録画中の画面表示です。



① 録画モード
② 録画時間
③ 録画画質
④ 音声録音表示
⑤ 保存ファイル数
⑥ 位置座標
⑦ 日時

表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[設定]	ドライブレコーダー設定を表示します。(➔P.20)
[リスト]	録画ファイルリストを表示します。(➔P.18)
[録画]	手動録画を開始します。手動録画モード中では、録画時間を延長します。
[戻る]	ナビゲーション画面に戻ります。
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]*	ナビゲーションの画質を調整します。調整方法はナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。

・*画像調整は録画される映像には影響しません。

再生する

ファイルを再生する

常時録画ファイルなどの録画ファイルを再生します。

1. ナビゲーションの画面上部から中央に向かってドラッグして画面コントロールメニューを出す

2. **[ドライブレコーダー]** にタッチしてドライブレコーダー画面を表示する

3. 画面にタッチして操作ボタンを表示させ **[リスト]** にタッチする

4. 再生したい録画フォルダを選択する

5. 再生したいファイルを選択する

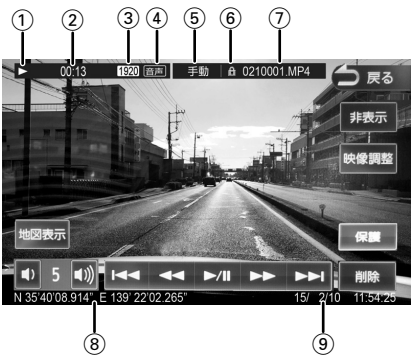
録画された場所の地図画面に選択したファイルの映像を小画面で表示します。小画面にタッチすると全画面表示に切り替わります。

- 操作ボタンは一定時間がすぎると消えます。画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。
- [非表示]にタッチしても操作ボタンを消すことができます。
- ファイルリストは、上から録画した順番で並びます。
- 駐車録画のファイル再生は、駐車録画時にナビゲーションからの位置情報を取得できていないため、録画された場所の地図画面は表示されません。

- 地図は北側が画面の上方向になるように固定されます。
- フォルダやファイルの選択、または再生中は、録画が停止します。また、[REC/■POWER]ボタンによる手動録画もはたらきません。
- ナビゲーションの[HOME]ボタンまたは[現在地]ボタンを押すと、通常録画モードに戻ります。
- ファイル選択中は、電源LEDが黄緑色点灯します。
- 走行中は、再生操作ができません。

画面の見かたと操作

再生中の画面表示です。



① 再生モード
② 再生時間
③ 録画画質
④ 音声再生
⑤ 録画モード
⑥ 保護ファイル
⑦ ファイル名
⑧ 位置座標
⑨ 日時

表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[地図表示]	録画された場所の地図画面になります。
[/]	音量を調整します。
[▶/II]	再生または一時停止します。
[◀◀]/[▶▶]	• 再生中にタッチすると速度が2段階に切り替わり早送り/早戻しします。 • 一時停止中にタッチするとコマ送り/コマ戻しします。 • 一時停止中にタッチし続けるとスロー再生になります。
[I◀◀]/[▶▶I]	前または次のファイルを再生します。
[削除]	再生しているファイルを削除します。(→P.23)
[戻る]	録画ファイルリスト画面に戻ります。ファイルリスト画面では、通常録画モードに戻ります。
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	ナビゲーションの画質を調整します。調整方法はナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。
[保護]*/[保護解除]	再生しているファイルを削除できないように保護したり、保護を解除します。保護したファイルを再生したときは、ファイル名の先頭に"🔒"マークが表示されます。

- *常時録画ファイルは保護できません。
- ファイルを保護しても、SDカードのフォーマットを行った場合はファイルが削除されます。

設定する

各種設定をする

本機の録画画質、録画時間などを設定します。

1. ナビゲーションの画面上部から中央に向かってドラッグして画面コントロールメニューを出す

2. **[ドライブレコーダー]** にタッチしてドライブレコーダー画面を表示する

3. 画面にタッチして操作ボタンを表示させ **[設定]** にタッチする

4. ドライブレコーダー設定画面を表示させ、変更したい項目を選択する。

5. 画面に従って操作する

6. **[戻る]** にタッチして設定を終了する

- 操作ボタンは一定時間がすぎると消えます。画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。
- 設定中は、録画が停止します。また、[REC/■POWER]ボタンによる手動録画もはたらきません。
- ナビゲーションの[HOME]ボタンまたは[現在地]ボタンを押すと、通常録画モードに戻ります。
- 設定中は、電源LEDが赤色点灯します。
- 走行中は、設定操作ができません。

ドライブレコーダー設定項目

* お買い上げ時の設定

項目	設定	説明
録画画質	1280x720/ 1280x720(HDR)*/ 1920x1080	録画する解像度を設定します。 1280x720(HDR)に設定すると、明暗差の大きなシーンの撮影も白とびや黒つぶれを抑えて被写体を録画します。
記録方式	映像+音声*/映像のみ	音声を記録するかしないかを設定します。
駐車録画	ON*/OFF	駐車時(ACC OFF時)に、車両の衝撃を検出して、録画を開始するかしないかを設定します。ONに設定すると駐車時に駐車LEDが点滅し、セキュリティインジケーターとして働きます。
常時録画の1ファイル毎の記録時間	1分*/2分/3分	常時録画（連続録画）の録画時間を設定します。 録画時間毎に区切って録画します。
手動録画の録画時間	30秒*/1分/2分	手動録画の時間を設定します。手動録画前の録画時間は15秒に設定されます。
衝撃録画の録画時間	30秒*/1分/2分	衝撃感知後の録画時間を設定します。車両の衝撃を検出前の録画時間は15秒に設定されます。
駐車録画の記録時間	10秒/20秒/30秒*	衝撃感知後の録画時間を設定します。
手動録画ファイルの上書き保存	ON/OFF*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。
衝撃録画ファイルの上書き保存	ON/OFF*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。
駐車録画ファイルの上書き保存	ON*/OFF	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかしないかを設定します。
操作音の音量	0/1/2*/3	操作音の音量を設定します。 0（消音）/1（小）/2（標準）/3（大）
衝撃録画の動作感度	低/中*/高	車両の衝撃を検出する感度を設定します。 低(大きな衝撃で検知します)/中(標準)/高(小さな衝撃で検知します)
駐車録画の動作感度	低/中*/高	駐車中の車両の衝撃を検出する感度を設定します。 低(大きな衝撃で検知します)/中(標準)/高(小さな衝撃で検知します)
バージョン情報	−	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
ファームウェア更新	−	本機のファームウェアを更新します。(➔P.22)
SDカード初期化	−	全てのファイルを消去し、SDカードをフォーマットします。(➔P.12)
設定の初期化	−	本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

設定する

システムをアップデートする

本機のシステムファームウェアを更新します。
アップデートに関する情報は、当社ホームページ
http://www2.jvckenwood.com/cs/car/
をご覧ください。

1. SD カードにシステムアップデートファイルをコピーして、SD カードスロットに入れる

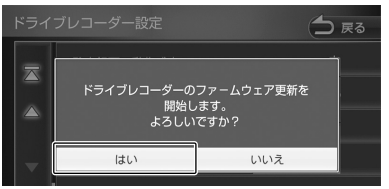
2. ナビゲーションの画面上部から中央に向かってドラッグして画面コントロールメニューを出す

3. **[ドライブレコーダー]** にタッチしてドライブレコーダー画面を表示する

4. 画面にタッチして操作ボタンを表示させ **[設定]** にタッチする

5. ドライブレコーダー設定画面を表示させ **[ファームウェア更新]** にタッチする

6. **[はい]** にタッチする



ファームウェアをアップデートします。

- アップデート中は本機の電源をオフしたり、SDカードを取り外さないでください。
- ファームウェアアップデートが終了すると本機の電源がオフして再度電源がオンします。
- 走行中は、設定操作ができません。

録画ファイルを削除する

ファイルを削除する

常時録画ファイルなど録画したファイルを削除します。

1. ナビゲーションの画面上部から中央に向かってドラッグして画面コントロールメニューを出す

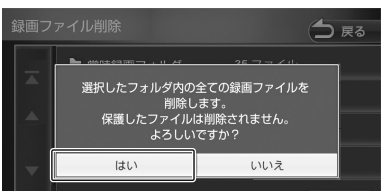
2. **[ドライブレコーダー]** にタッチしてドライブレコーダー画面を表示する

3. 画面にタッチして操作ボタンを表示させ **[リスト]** にタッチする

4. 録画ファイルリストを表示させ **[削除]** にタッチする

5. 削除したいフォルダを選択する

6. **[はい]** にタッチする



選択したフォルダ内のファイル全てを削除します。

特定のファイルだけ削除するときは ...

1. 削除したいファイルを再生する

「ファイルを再生する」を参照してファイルを再生します。(➔P.18)

2. **[削除]** にタッチする

3. **[はい]** にタッチする

- 保護ファイルを削除するときは、保護を解除します。
- 走行中は、削除操作ができません。

故障かな？と思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

共通

症状	原因 / 対処方法
電源がオンにならない。	• ヒューズが切れている。 ✔ コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。 • 電源コード、入出力ケーブルなどの接続が、間違っている。 ✔ お買い上げの販売店で接続を確認してください。 • ヒューズ、配線は問題ないのに電源がオンにならない。 ✔「本機の異常にお気づきのときは」を参照して本機をリセットしてください。(**➔P.6**)
• 録画できない。 • 駐車LEDが赤色で点灯または点滅し、電源LEDが赤色と黄緑色に交互に点滅している。	• SDカードが入っていない。 • 8GB～32GB以外のSDカードを挿入した。 • SDHC規格に準拠していないSDカードが挿入された。 • SDカードの書き込み禁止スイッチが"LOCK"位置になっている。 • SDカードがフォーマットされていない。 ✔ 本機で使用可能なSDカードをSDカードスロットに挿入してください。 ✔ 必要に応じてSDカードを本機でフォーマットしてください。 ✔「SDカード(書き込み禁止スイッチ)について」を参照して書き込み禁止スイッチを解除してください。(**➔P.27**) • 本機内部の温度が高温になっている。 ✔ 車内の温度を下げてください。保護回路が解除され録画ができる状態になります。

表示メッセージと音声ガイド

次のメッセージを表示した場合は、一覧に従って対処してください。
* マークのあるメッセージは、音声でも案内されます。

メッセージ	原因 / 対処方法
* SDカードがありません。	• SDカードが未挿入の状態で電源をオンにした。 • 録画中にSDカードが抜かれた。 ✔「本機で使用できるSDカード」を参照して、本機で使用可能なSDカードをSDカードスロットに挿入してください。(**➔P.27**)
* SDカードエラーです。	• 認識できないSDカードが挿入されている。 ✔「本機で使用できるSDカード」を参照して、本機で使用可能なSDカードをSDカードスロットに挿入してください。(**➔P.27**)

メッセージ	原因 / 対処方法
*SD カードがロックされています。	• SDカードの書き込み禁止スイッチが"LOCK"位置になっている。 ✔「SDカード(書き込み禁止スイッチ)について」を参照して書き込み禁止スイッチを解除してください。(➔P.27)
*SDカードの初期化が必要です。	• SDカードが認識できる形式でフォーマットされていない。 ✔ 必要に応じて「SDカードをフォーマットする」を参照してSDカードを本機でフォーマットしてください。(➔P.12)
本機が対応していない SD カードが挿入されています。	• 8GB未満または32GBを超える容量のSDカードが挿入されている。 ✔「本機で使用できるSDカード」を参照して、本機で使用可能なSDカードをSDカードスロットに挿入してください。(➔P.27)
SD カードが書き込みロックされています。SD カードを確認してください。	• SDカードの書き込み禁止スイッチが"LOCK"位置になっているため初期化ができない。 ✔「SDカード(書き込み禁止スイッチ)について」を参照して書き込み禁止スイッチを解除してください。(➔P.27)
SD カードのフォーマットができませんでした。	• SDカードが故障している。 ✔ 新しいSDカードに交換してください。SDカードには書き込み可能回数などの製品寿命があります。
* 録画を中止しました。	• SDカードを録画中に取り出した。 • SDカードの不良により、録画ができなくなった。 • 何らかの不具合が発生して録画が中止された。 • スピードクラスが適合しないSDカードを使用すると、録画が中断することがあります。 ✔ SDカードを挿入しなおしてください。 ✔ 新しいSDカードに交換してください。 ✔ 録画ファイル上書き保存を変更してください。(➔P.21) ✔ 適合するSDカードに交換してください。
SD カードの空き容量不足のため録画を中止しました。	• SDカードに常時録画を開始するために必要な空き容量が不足している。 • 手動録画や衝撃録画の上限ファイル数分を録画するのに必要な空き容量が不足している。 ✔ 不要なファイルを、「録画ファイルを削除する」を参照して削除してください。(➔P.12) ✔ 必要なデータをパソコン等にバックアップしてから、「SDカードをフォーマットする」を参照してSDカードを本機でフォーマットを行ってください。(➔P.23)
衝撃録画のファイル数が上限に達したため録画を中止しました。	• 「衝撃録画ファイル上書き保存」が"OFF"で、衝撃録画用フォルダの上限ファイル数に達した。 ✔「衝撃録画ファイル上書き保存」を"ON"に設定すると古いファイルを消して録画します。(➔P.21)

故障かな？と思ったら

メッセージ	原因 / 対処方法
手動録画のファイル数が上限に達したため録画を中止しました。	• 「手動録画ファイル上書き保存」が"OFF"で、手動録画用フォルダの上限ファイル数に達した。 ✔ 「手動録画ファイル上書き保存」を"ON"に設定すると古いファイルを消して録画します。(**➔P.21**)
ファイルが再生できません。	• 何らかの原因で、再生できないファイルが録画された。 • SDカードの不良により、データが読み取れなくなった。 ✔ 必要なデータをパソコン等にバックアップしてから、「SDカードをフォーマットする」を参照してSDカードを本機でフォーマットを行ってください。(**➔P.12**)
ドライブレコーダーが高温になったため、録画を中止しました。	• 本機の温度上昇により駐車録画ができなかった。 ✔ 車内の温度を下げてください。保護回路が解除され録画ができる状態になります。
ドライブレコーダーが高温になったため、安全のため電源を切りました。	• 本機の温度上昇により安全のため電源を切った。 ✔ 車内の温度を下げてください。保護回路が解除され録画ができる状態になります。
ドライブレコーダーが接続されていません。	• 本機が正しく接続されていない。 • 本機の電源をオフにしている。 ✔ 「配線のしかた」を参照して接続を確認してください。(**➔P.10**) ✔ 電源をオンしてください。(**➔P.12**)
SD カードに更新ファイルがありません。	• SDカードにファームウェアデータが存在しない。 ✔ 本機用ファームウェアデータをSDカードに入れてください。
SDカードにある更新ファイルは、現在のファームウェアバージョンよりも新しいものではないため、更新を中止します。	• SDカードにある更新ファイルは、現在のファームウェアバージョンと同じか、または古い。 ✔ 最新のファームウェアデータを入れてください。 ✔ 最新のファームウェアデータが入っている場合は、本機のファームウェアは最新ですので更新は不要です。
更新できませんでした。	·更新ファイルが SD カードから正常に読み出せなかった。 ·更新ファイルが壊れている。 ✔ SDカードを本機でフォーマットした後、もう一度更新データをSDカードにコピーして、再度更新操作を行ってください。

付録

SD カードについて

本機で使用できる SD カード

規格	SDHC
容量	8GB ～ 32GB
スピードクラス	Class4 以上 (Class6 推奨)
ファイルシステム	FAT32

- MMC(MultiMediaCard) には対応していません。
- スピードクラスはClass10まで対応しています。

SD カード使用上のご注意

- 市販のSDカードを使用するときは、SDカードに付属している取扱説明書もあわせてご確認ください。
- SDカードのフォーマット(初期化)は必ず本機で行ってから使用してください。
- miniSD カード、microSD カードはSD カードアダプターを使用することで使用可能ですが、すべてのカードでの動作保証はしていません。
- SDカードには書き込み可能回数などの製品寿命があります。使用状況に応じて定期的に新品に交換することをお勧めします。
- SDカード内の必要なファイルは必ずパソコンなどにバックアップ(コピー)をしてください。SDカードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

SD カード (書き込み禁止スイッチ) について

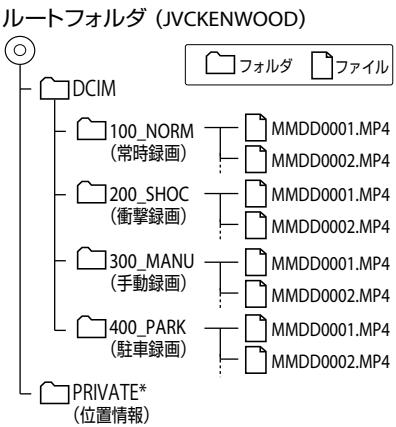
SD カードには、データの書き込みを禁止するスイッチがあります。本機で使用するときは書き込み禁止スイッチを解除してください。

SD カードを破棄 / 譲渡するときのお願い

- 本機のSDカード初期化や削除、パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、SDカード内のデータは完全に消去されません。廃棄/譲渡の際は、SDカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

フォルダ / ファイル構成

SD カードに録画したデータには、項目毎のフォルダにまとめられ、ファイル名には月日、ファイル番号の順に自動的に付けられます。



ファイル名表記について
MM DD 0001.MP4
月 日 ファイル番号 (0001 から連番)

*PRIVATEフォルダ内にあるデータをパソコンなどで変更または削除しないでください。正しくファイルが再生できなくなります。

付録

録画時間

録画画質	SDHC カード容量		
	8GB	16GB	32GB
1280 x720	110 分	230 分	480 分
1280 x720(HDR)	110 分	230 分	480 分
1920x1080	80 分	170 分	350 分

- 上記の録画時間は、常時録画、手動録画、衝撃録画、駐車録画の合計(最大)です。
- 録画時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

録画ファイル数

録画モード	SDHC カード容量		
	8GB	16GB	32GB
手動録画	10 ファイル	20 ファイル	40 ファイル
衝撃録画	5 ファイル	10 ファイル	20 ファイル
駐車録画	20 ファイル	40 ファイル	80 ファイル

- 常時録画ファイル数は、録画された手動録画、衝撃録画、駐車録画の数によって変わります。
- 手動録画、衝撃録画、駐車録画は「各種設定のファイルの上書き保存」を"ON"に設定すると古いファイルを消して録画します。必要なファイルはパソコン等にバックアップしてください。

商標

- SDHCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- HDMI とHDMI High-Definition Multimedia Interface という用語、およびHDMI ロゴは、HDMI Licensing, LLC の米国その他の国々における商標または登録商標です。
- 本製品は AVC Patent Portfolio License に基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
  1) 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC Video)を記録する場合
  2)AVC Video(消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、または MPEG LA より ライセンスを取得したプロバイダが記録したもの)を再生する場合

  詳細については、MPEG LA, LLC. のホームページをご参照ください。
  http://www.mpegla.com/

仕様

撮像素子
1/5.8 型 カラーCMOS

撮像素子総画素数
251万画素

カメラ画角
水平：約135度、垂直：約77度
(対角156度)

撮影記録画像（最大）
1920 x1080 Full-HD

フレームレート
30 fps

動画記録方式
ファイル形式：MP4
映像：H.264/MPEG-4 AVC
音声：AAC

録画メディア
Standard SD card
SDHC Class4以上（Class6推奨）
8～32GB

GPS
非搭載（GPS位置情報をカーナビゲーションより取得）

Gセンサー衝撃感度
−4G ～ +4G (X/Y/Z 3軸)

HDMI端子
HDMI™ Mini Connector

USB端子
micro USB type B

電源電圧
14.4V (10.5 ～ 16V)

消費電流
360mA

外形寸法 (幅) x (高さ) x (奥行)
95.5 x 29 x 56mm （突起物除く）

質量 (重さ)
約100g（コード含まず）

コード長
4m

動作環境
−10℃ ～ +60℃

付属品
電源コード （4m）x 1
ナビ接続用ビデオケーブル x 1
ETC/ステアリングリモコンケーブル
(中継コネクター 4個付き) x 1
専用マウントベース x 1
ソフトテープ x 1
SDHCカード（8GB）x 1

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証について

保証書　この製品には、保証書を添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間 お買上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- **ホームページ**
  http://www2.jvckenwood.com/cs/service.html
- **JVCケンウッドカスタマーサポートセンター**
  フリーダイヤル 0120-2727-87
  携帯電話、PHSからは 045-450-8950　（受付時間などは裏表紙を参照してください。）

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」(➔P.24)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、本機の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持込修理

この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

技術料：　製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代：　修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります

Memo

正しい取付け
正しい操作で
安全運転

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHS、IP 電話からは 045-450-8950
FAX　045-450-2308
住所　〒 221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間　月曜～金曜 :　9:30 ～ 18:00
土曜 :　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ（http://www2.jvckenwood.com/cs/service.html）または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。